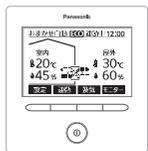
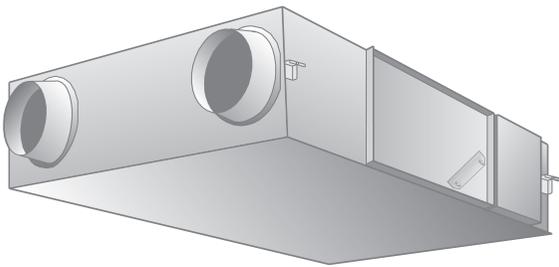


工事説明書

熱交換気ユニット

品番 FY-23KBD1YC
FY-30KBD1YC

リモコン (別売品)
品番 FY-SCDH30



(別売品)

入っているか、 確認してください！

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの
(別売品) 以外は使用しないでください。

■熱交換気ユニット(付属品)

- 断熱パッキン (吊り金具用) ……2枚
- 取扱説明書 ……1冊
(必ずお客様にお渡しください)
- 工事説明書 (本書) ……1冊
(必ずお客様にお渡しください)



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に
施工してください。特に「安全上のご注意」は、
施工前に必ずお読みください。

- ・ 工事説明書に記載されていない方法や、指定
の部品を使用しない方法で施工されたこと
により事故や損害が生じたときには、当社では
責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、
製品保証の対象外となります。

取扱説明書と本書 (工事説明書) は必ず
お客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
お願い	3
各部の名前と寸法	4
取付参考図	4
施工方法	5~11
初期設定	12~15
試運転	16~18
設定初期化	19
異常があった場合	20

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
 分解禁止	仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因となります。
	交流100Vで使用する 火災・感電の原因となります。
 アース線接続	D種接地工事をおこなう 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因となります。	
熱交換気ユニットは高温や高湿度空気を吸い込む位置には取り付け ない 機器内部に影響を与え、感電・火災の原因になることがあります。	

 注意	
 水場使用禁止	浴室など、湿気の多いところに取り付け ない 感電の原因となります。
 禁止	炎があたるおそれのある場所には 取り付け ない 感電や火災の原因となります。
	本体は、十分強度のあるところに しっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。
	部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。
 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工士が 確実に おこなう 誤った配線工事、ねじり配線や電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれ があります。	
本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。	
屋外吸込ダクト、排気ダクトの先端には、必ず雨水、雪が浸入しにくいパイプフードを取り付ける 雨水、雪の浸入により、感電・火災や家財などを濡らすおそれがあります。	
外風の強い場所に設置する場合は防風型のフードを取り付ける 強風時での雨水浸入により、感電・火災や家財などを濡らすおそれがあります。	

お願い

■高温(40℃以上)になる場所では使わないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■給気清浄フィルターユニットを必ずお使いください。

熱交換素子の目詰まりなどにより換気量が確保できないことがあります。

■台所など、油煙の発生する場所には取り付けしないでください。

吸込グリルなどの破損の原因となります。

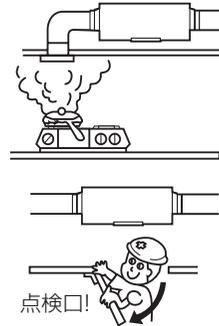
■点検口を設けてください。

保守点検ができません。

■次のような配管工事はしないでください。

風量低下の原因となります。

- (1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ (3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。
-



■パイプ取り付けをおこなう際、必ず本体から屋外側に向かって下り勾配をとってください。

下り勾配をとらないと、雨水が室内側に流れます。

■室内環境を維持するため、下記の場合は運転を停止してください。

(停止後は必ず運転を再開してください)

- 外気温が-10℃以下のとき
- 吹雪や台風などのような雪や風、雨の強いとき
- 霧の多いとき
- お手入れや点検のとき

■霧などの高湿度空気を吸い込むと、本体から結露水が滴下する場合があります。

使用環境や建物環境により発生状況が異なりますので、運転を停止するか、運転モードの切り換えをしてください。

(高湿度空気を吸い込む場合は、運転モードを熱交弱で運転してください。また、濃霧や強風などで雨水が浸入するおそれのある場合は、運転を停止してください。)

■電気・電子機器や濡れて困るものの上に本体を設置しないでください。

霧などの高湿度空気を吸い込むと、本体から結露水が滴下して、破損につながる場合があります。

■設置場所が床下や天井裏の場合は、吸込グリルにフィルター付きのものを取り付けてください。

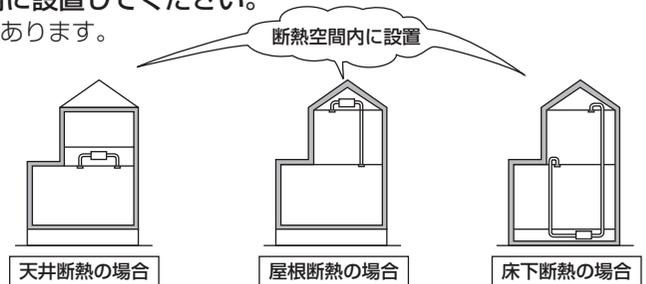
お手入れがし易くなります。

お手入れが必要な吸込グリルは、お客様にお伝えください。

■屋外フードは環境に応じガラリ付タイプ、防鳥網付タイプの選定をおすすめします。

■本体はチューブも含めて、必ず断熱空間内に設置してください。

断熱空間外に設置した場合、結露するおそれがあります。



■本体の横置き/縦置き設置はできません。



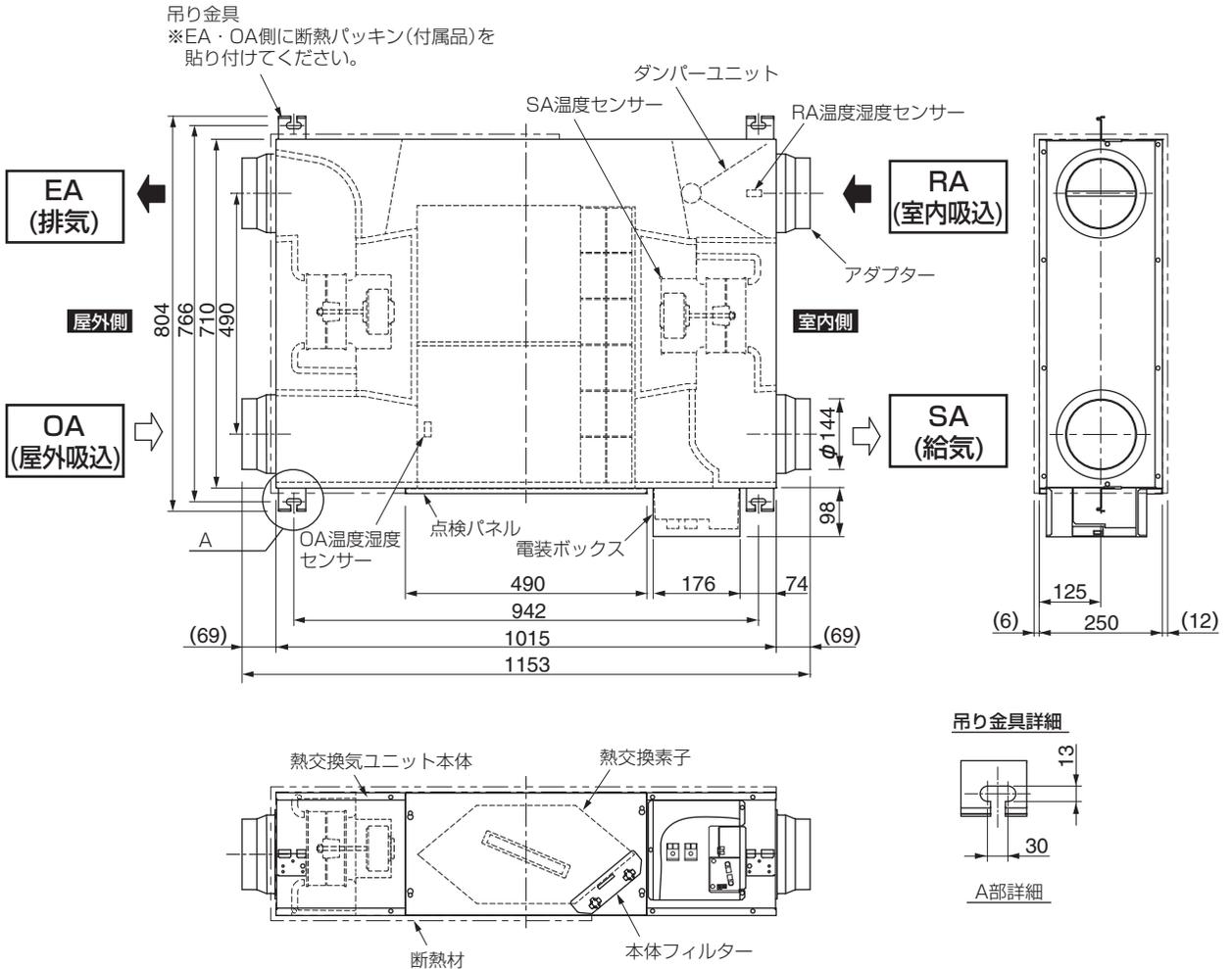
■火災警報器の近くにグリルを設置しないでください。

本体と火災警報器の距離は1.5 m以上離してください。

設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

各部の名前と寸法

単位：mm



取付参考図

製品の取付参考図は、採用のシステム工事図をご確認ください。

施工方法

以下の手順に従って施工してください。

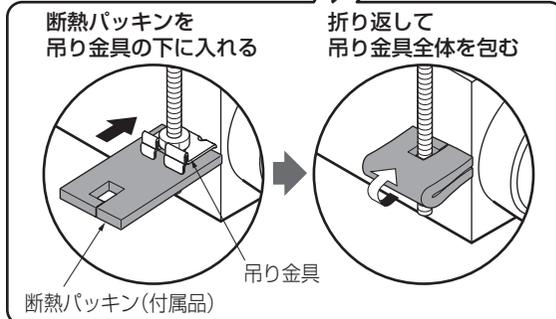
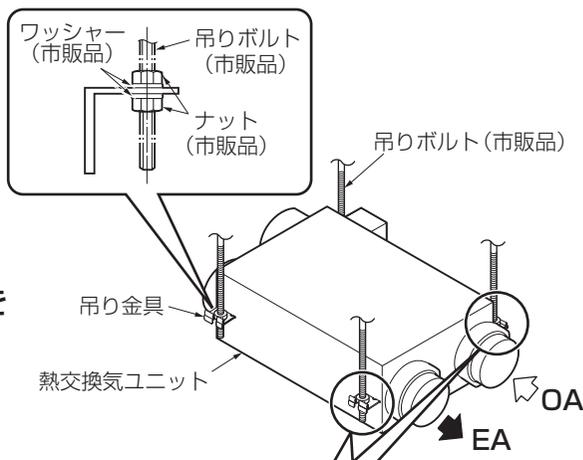
熱交換気ユニットの取り付け ※熱交換気ユニット本体は、天地逆取り付け可能です。

天吊り施工の場合

- ①熱交換気ユニットの吊り金具位置に合わせ、吊りボルト（市販品：M10～M12）を設置し、熱交換気ユニットを吊りボルト（市販品）に取り付ける。
- ②付属の断熱パッキン（吊り金具用）をOA・EA側の吊り金具に貼り付け、断熱してください。
断熱パッキンがないと、吊り金具が結露する場合があります。

お願い

- 取り付けは、本体の質量に十分耐えるようにしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分だと振動の原因となります。
- 吊りボルト（市販品）は垂直に取り付けてください。
- 特に振動防止に注意する必要がある場合は、防振用吊金具（FY-O3BGH 別売品）を使用して本体を取り付けてください。

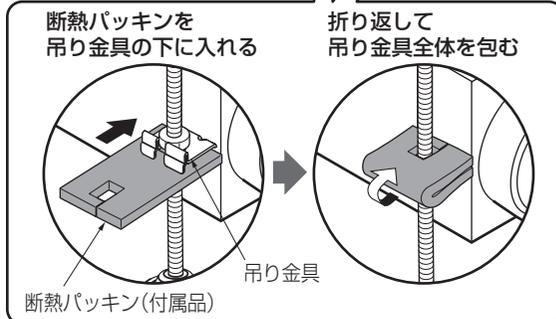
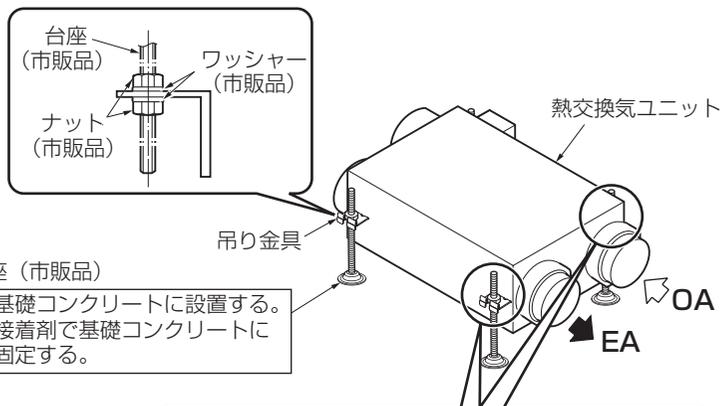


床設置施工の場合

- ①熱交換気ユニットの吊り金具（4個）に台座（市販品：M10～M12）を取り付ける。
- ②付属の断熱パッキン（吊り金具用）をOA・EA側の吊り金具に貼り付け、断熱してください。
断熱パッキンがないと、吊り金具が結露する場合があります。

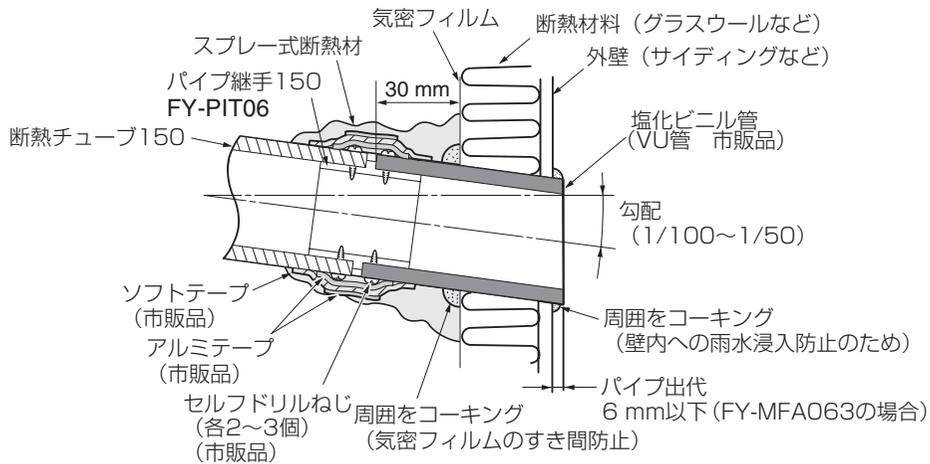
お願い

- 台座は基礎コンクリートに設置してください。振動などの原因となります。
- 本体が水平になるように設置してください。



外壁面と断熱チューブの接続

- ①外壁面には塩化ビニル管：呼び径150VU管（市販品）を設置し、パイプ継手150で断熱チューブ150と接続する。
- ②セルフドリルねじ（市販品）で固定し、アルミテープ（市販品）とソフトテープ（市販品）を巻いて断熱する。ソフトテープがはがれるのを防ぐため、アルミテープをもう1回巻く。
- ③壁面とテープ部分にスプレー式断熱材などを施す。



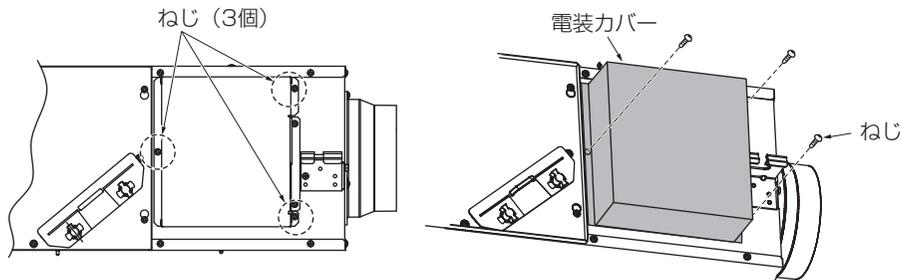
お願い

- 壁面とソフトテープ部分にスプレー式断熱材などを施してください。
- ソフトテープは、すき間のないように巻き付けてください。
- VP管には取り付けできません。塩化ビニル管使用時はVU管を使用してください。

施工方法 (続き)

熱交換気ユニットと電源 (AC100 V) の結線

① 本体からねじ (3個) をはずし、電装カバーをはずす。



② VVFケーブル (φ1.6またはφ2.0 2心) を下図のように段むきする。

③ 結線図に従ってVVFケーブルを本体電源用速結端子に心線がとまるまで差し込む。

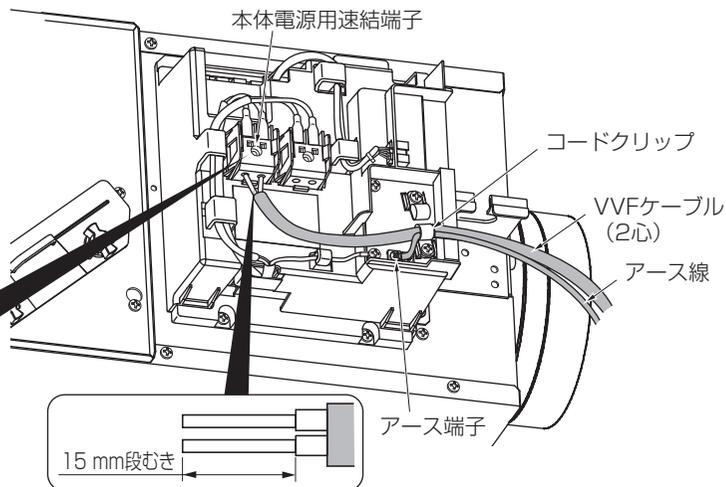
④ アース線を本体に固定し、VVFケーブルと一緒にコードクリップで固定する。

警告

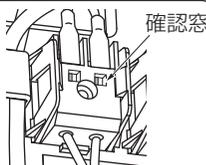
D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

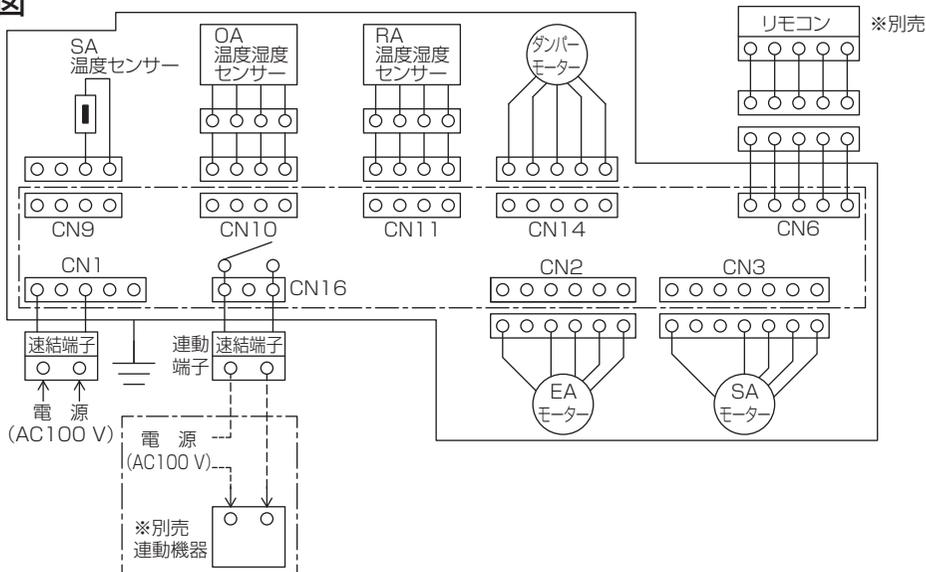
アース線接続



本体電源用速結端子の確認窓からVVFケーブルの心線が見えるまで確実に差し込まれているか確認する。

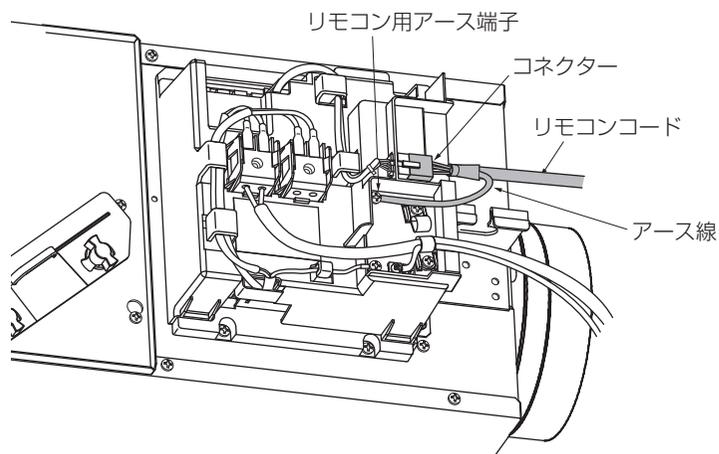


■ 結線図

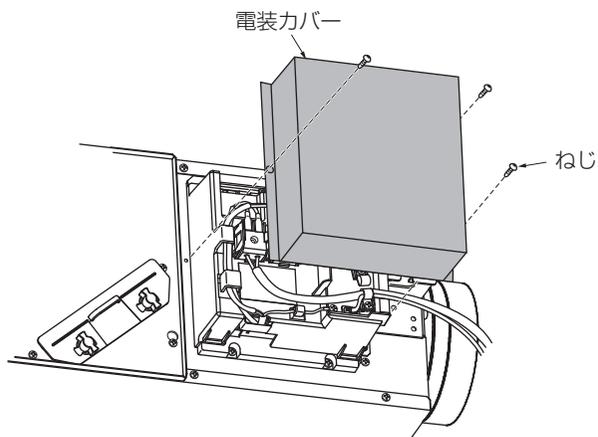


⑤ リモコンコードとリモコンコードのアース線を本体に接続する。

外部機器と連動する場合は、10ページの「熱交換気ユニットと外部機器を接続する場合」をご覧ください。



⑥ 電装カバーを本体に、はずした逆の順序で固定する。



施工方法 (続き)

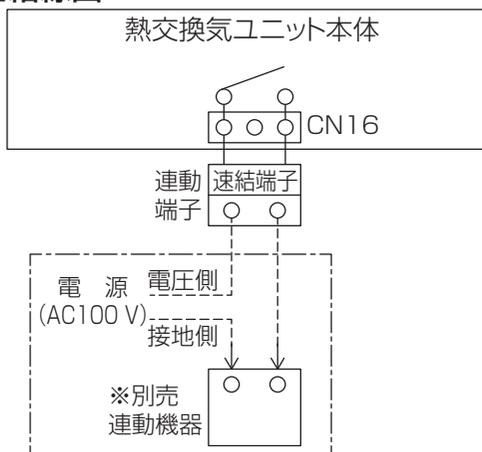
熱交換気ユニットと外部機器を連動する場合

外部機器と連動する場合は「熱交換気ユニットと電源の結線」の⑤の後に外部機器用VVFケーブルを接続してください。

接続可能な外部機器例

温水暖房、換気扇、ダンパー

■結線図



お願い

●接続できる機器は、最大負荷容量AC100 V、2 A以下の温水暖房（ACファン）、換気扇（ACファン）、ダンパーです。

※定格負荷ではなく最大負荷で判断してください。

AC100 V、2 Aを超えた場合、故障のおそれがあります。

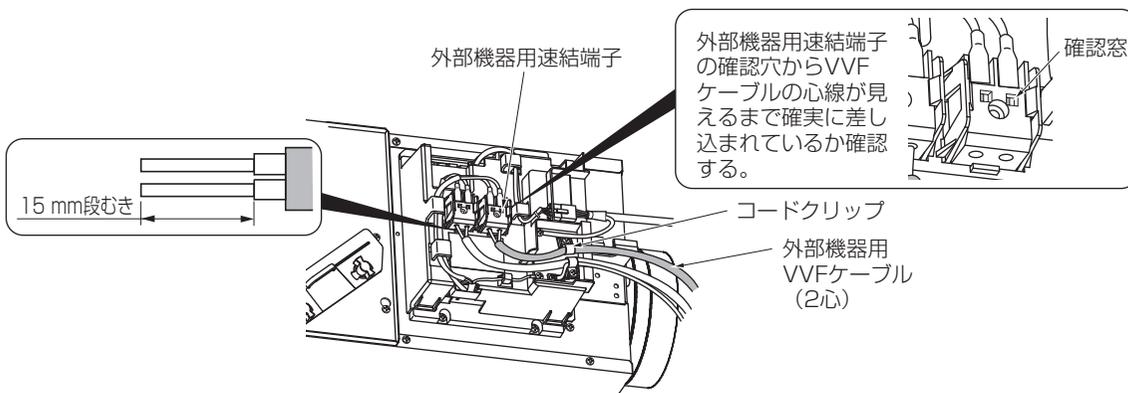
※DCモーター製品および回路基板搭載製品は接続しないでください。

ファン起動時の突入電流などにより故障するおそれがあります。

※接続にあたっては、温水暖房、換気扇、ダンパーの製造メーカーに接続可否を確認してください。

※ダンパーは室内吸込経路切り換え用です。AC100 V投入時「閉→開」となる製品を選定してください。（推奨：FY-MSW04、FY-MSW06）

- ①外部機器連動用VVFケーブル（ $\phi 1.6$ または $\phi 2.0$ 2心）を下図のように段むきする。
- ②結線図に従って外部機器連動用VVFケーブルを外部機器用速結端子に心線がとまるまで差し込む。
- ③外部機器連動用VVFケーブルをコードクリップで固定する。



点検口の配置

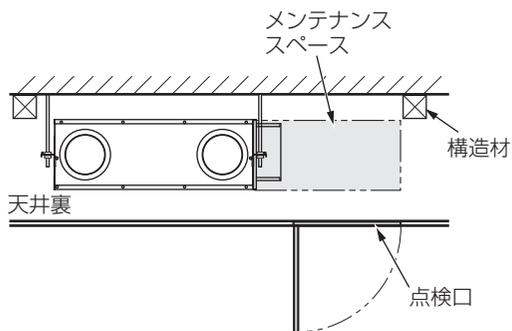
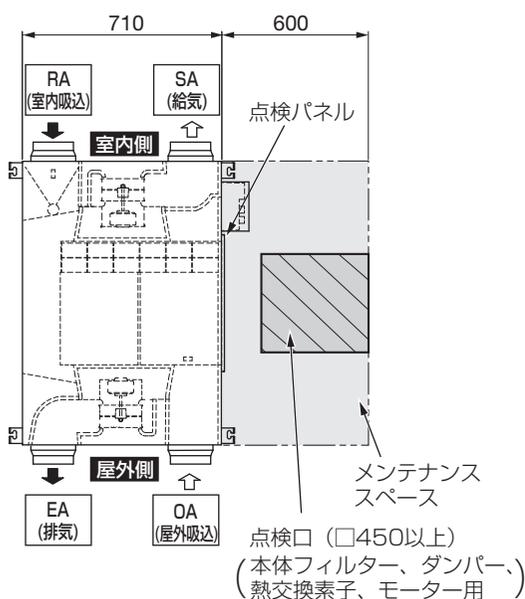
点検口は下記の位置に設置してください。

単位：mm

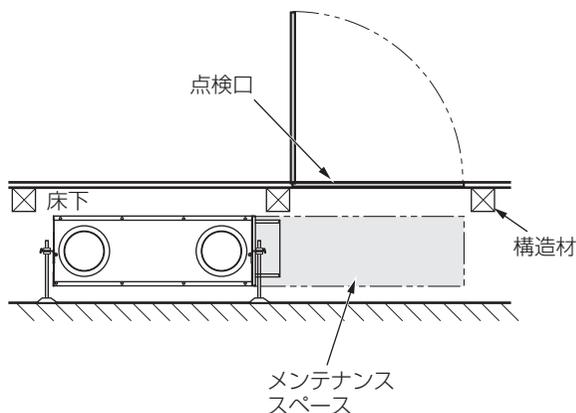
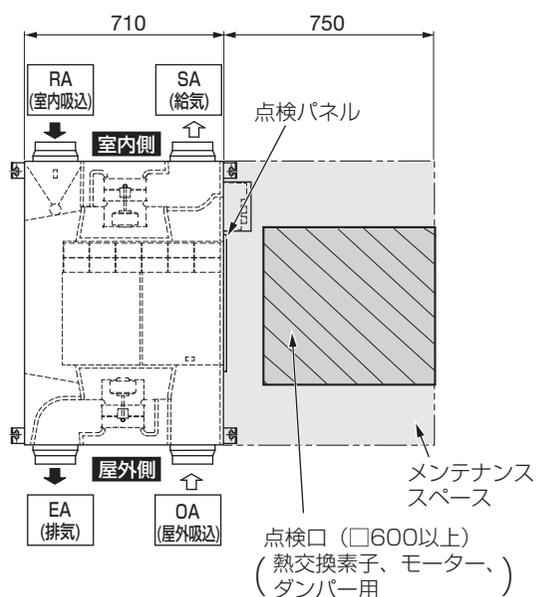
お願い

- 点検パネル前のメンテナンススペースを確保するため、「点検パネル」「本体」「点検口」が構造材に干渉しないように点検口を配置してください。
メンテナンススペースが確保できないと内部部品が取り出せず、メンテナンスができない場合があります。

天吊り施工の場合



床置施工の場合



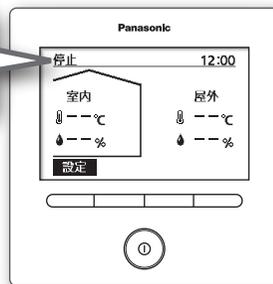
初期設定 現在の設定を確認する

リモコン設置後に必ず確認してください。

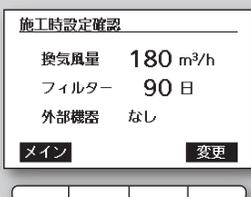
停止した状態で確認する

この工事説明書に従って結線や取り付けに異常がないか確かめ、ブレーカーを入れてください。

停止



1



- ◆ 停止中に右2つの操作スイッチを同時に3秒長押しする

- ◆ 初期設定は下記に設定されています。変更する場合は、それぞれの設定方法を確認してください。

	FY-23KBD1YC	FY-30KBD1YC
換気風量	180 m³/h	260 m³/h
フィルター	90日 (推奨設定)	
外部機器	なし	

2-a

メイン画面に戻る場合



- ◆ **メイン** を押す

2-b

設定を変更する場合



- ◆ **変更** を押す
13～15ページを参照し、変更してください。
- ◆ 設定を変更した場合は、設定内容を試運転の「設定内容表」にチェック (✓) してください。(P.16ページ)

換気風量を変更する

標準換気風量（0.5回/h）を設定してください。

1



- ◆ 「施工時設定」を表示する（☞ 12ページ）

- ◆ ▼ ▲ で **換気風量** を選択する
- ◆ **決定** を押す

2



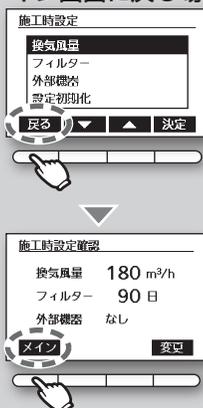
- ◆ ▼ ▲ で住宅に合わせた「換気風量」を選択する
- ◆ **決定** を押す

■ 選択領域

	FY-23KBD1YC	FY-30KBD1YC
	110 m ³ /h	180 m ³ /h
	125 m ³ /h	200 m ³ /h
	140 m ³ /h	220 m ³ /h
	160 m ³ /h	240 m ³ /h
	180 m ³ /h (初期設定)	260 m ³ /h (初期設定)
	200 m ³ /h	280 m ³ /h
	230 m ³ /h	300 m ³ /h

3-a

メイン画面に戻る場合



- ◆ **戻る** を押す

- ◆ **メイン** を押す

3-b

続けて設定する場合



- ◆ ▼ ▲ で変更したい設定を選択する

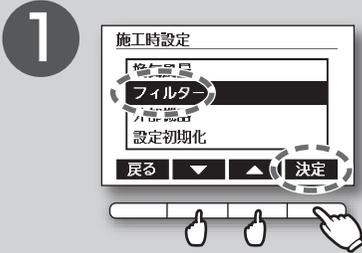
- ◆ **決定** を押す

フィルターメンテナンス頻度を変更する

使用環境に応じて変更してください。

- ・通常は90日に設定することをおすすめします。
- ・フィルターがすぐに目詰まりする場合などは、30日に変更することも可能です。

◆ 「施工時設定」を表示する（☞ 12ページ）



◆ ▼ ▲ で **フィルター** を選択する

◆ **決定** を押す



◆ ▼ ▲ で「フィルターメンテナンス頻度」を選択する

◆ **決定** を押す

■ 選択領域	90日 (初期設定)
	30日
	なし

メイン画面に戻る場合



◆ **戻る** を押す

◆ **メイン** を押す

続けて設定する場合



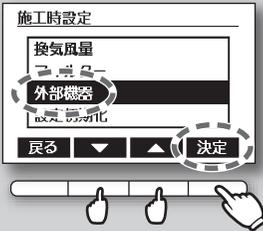
◆ ▼ ▲ で変更したい設定を選択する

◆ **決定** を押す

外部機器を設定する

指定の外部機器との連動設定をしてください。

1



- ◆ 「施工時設定」を表示する（☞ 12ページ）

- ◆ ▼ ▲ で **外部機器** を選択する
- ◆ **決定** を押す

2



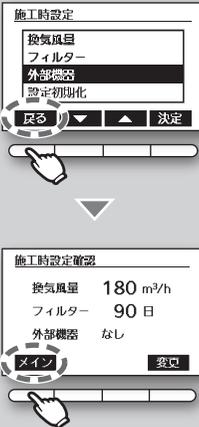
- ◆ ▼ ▲ で接続する「外部機器」を選択する
- ◆ **決定** を押す

■ 選択領域

なし (初期設定)
温水暖房
換気扇
ダンパ

3-a

メイン画面に戻る場合

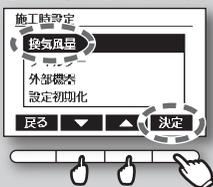


- ◆ **戻る** を押す

- ◆ **メイン** を押す

3-b

続けて設定する場合



- ◆ ▼ ▲ で変更したい設定を選択する

- ◆ **決定** を押す

試運転（本体）

この工事説明書に従って結線や取り付けに異常がないか確かめ、
下記の手順で試運転をおこなってください。

設定内容表

設定した換気風量/フィルターメンテナンス頻度/外部機器の設定/お手入れ場所を
下表の□にチェック（✓）してください。

リモコンを設定初期化した場合に使用します。

※この工事説明書は取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

換気風量

FY-23KBD1YC	FY-30KBD1YC
<input type="checkbox"/> 110 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 180 m ³ /h
<input type="checkbox"/> 125 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 200 m ³ /h
<input type="checkbox"/> 140 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 220 m ³ /h
<input type="checkbox"/> 160 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 240 m ³ /h
<input type="checkbox"/> 180 m ³ /h (初期設定)	<input type="checkbox"/> 260 m ³ /h (初期設定)
<input type="checkbox"/> 200 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 280 m ³ /h
<input type="checkbox"/> 230 m ³ /h	<input type="checkbox"/> 300 m ³ /h

フィルターメンテナンス頻度

<input type="checkbox"/> 90日 (初期設定)
<input type="checkbox"/> 30日
<input type="checkbox"/> なし

外部機器

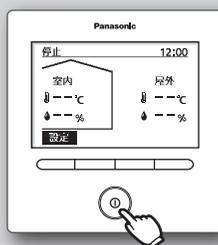
<input type="checkbox"/> なし (初期設定)
<input type="checkbox"/> 温水暖房
<input type="checkbox"/> 換気扇
<input type="checkbox"/> ダンパ

お手入れ場所

<input type="checkbox"/> 給気清浄フィルターユニット
<input type="checkbox"/> 吸込グリル(フィルター付き) または
<input type="checkbox"/> 熱交換気ユニット本体

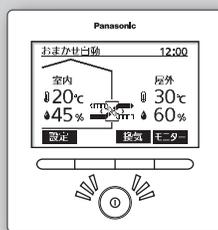
※取扱説明書（P10ページ）にも
チェック（✓）してください。

1



◆ ① を押す

2



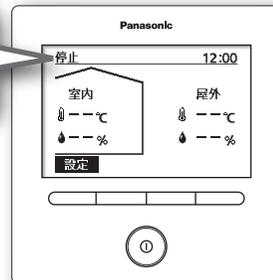
- LEDが点灯します。
- 熱交換気ユニットが正しく動作しているか、
吸込(吹出)グリルに手をかざして確認して
ください。



試運転（外部機器）

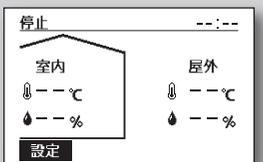
外部機器と連動している場合
停止した状態で確認する

停止



●温水暖房/換気扇の動作を確認する

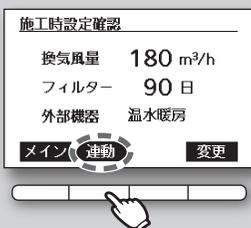
1



同時に3秒長押し

- ◆ 停止中に右2つの操作スイッチを同時に3秒長押しする

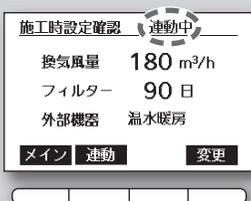
2



※換気扇が連動している場合、外部機器には「換気扇」が表示されます。

- ◆ **連動** を押す

3



- 連動中の表示が点灯します。
- 温水暖房（または換気扇）が正しく動作しているか確認してください。

試運転（外部機器）（続き）

●ダンパーの動作を確認する

1



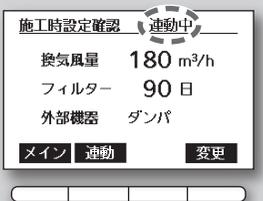
- ◆ 停止中に右2つの操作スイッチを同時に3秒長押しする

2



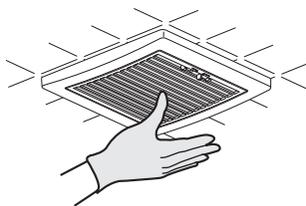
- ◆ **連動** を押す

3



- 連動中の表示が点灯します。
- ダンパーが正しく動作しているか、吸込グリルに手をかざして確認してください。

※このモードでは10秒ごとに開/閉を繰り返しています。
10秒ごとにダンパーが開/閉を正しくできているか、風の動作を確認してください。

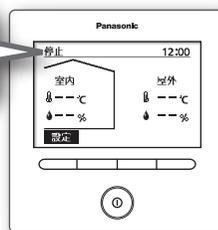


設定初期化

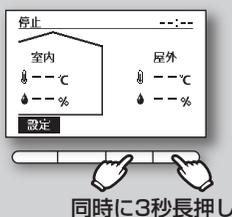
工場出荷時の設定に戻します。

停止した状態で設定する

停止



1



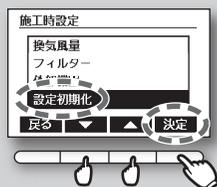
- ◆ 停止中に右2つの操作スイッチを同時に3秒長押しする

2



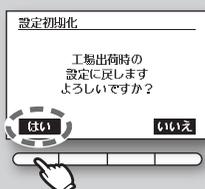
- ◆ **変更** を押す

3



- ◆ ▼ ▲ で **設定初期化** を選択する
- ◆ **決定** を押す

4



- ◆ **はい** を押す

5



- ◆ **戻る** を押す

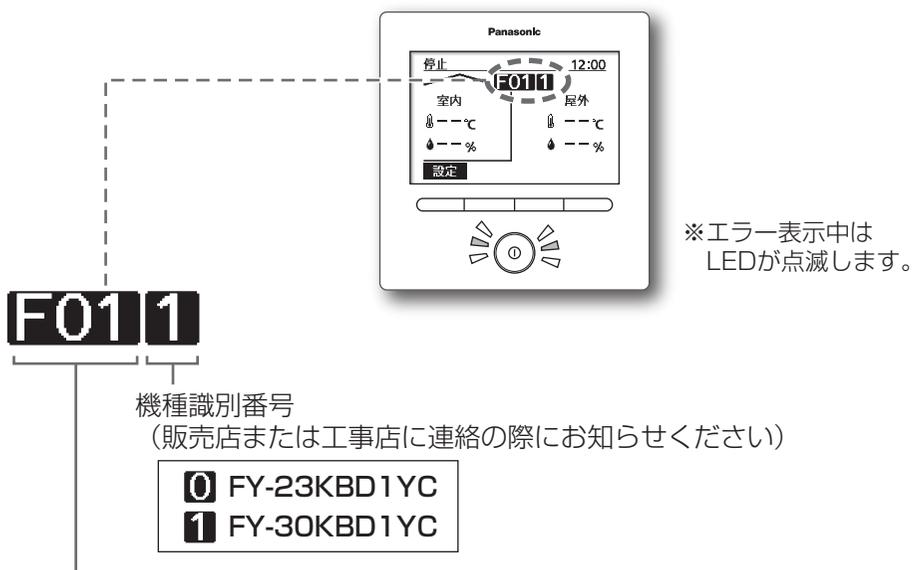
6



- ◆ **メイン** を押す

異常があった場合

■異常の場合にはLEDが点滅し、液晶表示部にエラー表示が表示されます。



エラー表示	異常内容	処理内容
F01	リモコン通信異常	リモコン線の断線、接続不良の確認 リモコン基板、本体基板の確認
F02	本体基板異常	本体基板の確認
F10	OA温度センサー異常	OA温度センサー、本体基板の確認
F11	OA湿度センサー異常	OA湿度センサー、本体基板の確認
F12	RA温度センサー異常	RA温度センサー、本体基板の確認
F13	RA湿度センサー異常	RA湿度センサー、本体基板の確認
F14	SA温度センサー異常	SA温度センサー、本体基板の確認
F20	SAモーター異常	SAモーター、本体基板の確認
F21	EAモーター異常	EAモーター、本体基板の確認

試運転が終わりましたら

お客様へ引き渡す際に、「システム構成」「施工時設定内容」「使用方法」などを十分説明して、工事説明書、取扱説明書をお渡しください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2025

23KBD1422-YC-P1025-0